



年 組 名前

## 道新ワークシート

## 札幌市内バス30円値上げ

## 12月27年ぶり収支改善図る

札幌市は24日の市公共交通協議会で、全ての市内路線バスの均一運賃を12月から30円値上げする方針を明らかにした。今後、バス会社が国に届け出する。均一運賃の値上げは、消費税を除き1997年以来27年ぶり。運賃値上げにより、バス会社の収支や運転手の処遇の改善につなげ、路線維持を図る。同様の課題に直面する道内他地域でも相次ぎ値上げしており、今後さらに動きが広がりそうだ。

値上げする市内の路線バス運行事業者は、北海道中央バス、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ、札幌ばんけい、夕張鉄道（夕鉄バス）。大部分が1区210円と2区240円の均一運賃で、値上げにより1区240円、2区270円となる。通勤・通学定期や回数券も、各社によって金額は異なるが、引き上げる。札幌市内の路線バスを巡

っては、運転手不足が深刻化し、昨年12月に北海道中央バス（小樽）が大規模なダイヤ改正を行うなど、減便や路線短縮が続く。路線維持のため、市は2024年度からバス会社の運行路線への補助額も引き上げる方針。新型コロナウイルス禍で激減した乗客の増加が見込めない上、維持経費が運賃収入を上回る状態が続く中、支援を強める

必要があると判断した。

市は昨年11月の同協議会で、バス会社と自治体など地元の合意があれば国の認可を得なくても値上げできる「協議運賃」で値上げする方針を示し、バス会社と個別に専門部会を設置して協議を重ねてきた。

道内では路線バスの運賃値上げの動きが加速。北海道運輸局によると、23年12月、道南バス（室蘭）が苫小牧市中心部で初乗り運賃を20円、函館バス（函館）は函館市内で同40円いずれも値上げした。網走バス（網走）も同3月、網走市などで同30円値上げ。旭川電気軌道（旭川）は22年10月、旭川市内などで同20円値上げした。（岩内江平）

2024年1月25日（木）朝刊 全道版 1ページ（記事は再編集しています）

- ① 札幌市内バス値上げはどのような目的で決定されたか。記事を参考に書きなさい。
- ② あなたの身の回りで、最近値段が上がったものを書きなさい。